

# タンデム自転車体験会 実施報告書

1 事業概要	開催日	令和元年11月30日(土) 10:30~15:00
	事業名称	タンデム自転車体験会
	主催	(公財)横浜市体育協会
	協力	Grupetto(港北区所在自転車店)、わくわくわーく(盲ろう者地域作業所)
開催概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 会場 日産スタジアム西ゲート橋付近、特設会場</li> <li>■ 内容 タンデム自転車体験、ゲストによるトークショー</li> <li>■ 参加者 170名(タンデム自転車体験120名(延べ)、トークショー50名)</li> <li>■ 日産スタジアムサイクルパークフェスティバルのブースとして出展</li> <li>■ 横浜子どもスポーツ基金活用事業</li> </ul>	

## 2 記録



後部座席には盲ろう者



聴覚障がい児とデフリンピック日本代表早瀬久美選手



目隠しと耳栓で疑似体験



家族での参加

3 所感

・タンデム自転車体験では、障がい者が後部座席、スタッフが前部座席に乗車し、屋根付きコース片道約70mを2周回(約280m)、屋外コース片道120mを2周回(約480m)で実施しました。視覚障がい者の中には太陽光の刺激が強く感じてしまう方もいるため、屋根付きのコースを設定しました。また、前年度は盲ろう者に自転車を触って確認したり、通訳者を介した説明をすることで時間がかかり、混雑する場面があったため、複数のコースを設定しました。

- ・参加者は聴覚障がい、視覚障がい、また重複障がいの盲ろうの方が来場されました。
- ・スタッフは昨年度も依頼した協力団体に今年度も引き続き協力いただきました。また、野外活動施設職員の他に自転車競技等の経験の深いマラソン推進課職員の応援を受けることができ、スムーズに運営することができました。また、手話通訳者3名を受付と各コースに配置しました。
- ・健常者の希望者には、アイマスクと耳栓を使用して障がいの疑似体験をしていただきました。
- ・トークショーでは、デフリンピック自転車競技日本代表選手の早瀬ご夫妻にゲストとして、お越しいただき、競技や仕事、今後の目標など、手話通訳者を介してお話いただきました。最後に質疑応答をおこなった際に「娘が聴覚障がいと知的障がいがあり、1年生になるが自転車に乗れないがどの様な練習をすればよいか」との質問があり、早瀬さんより「それこそタンデム自転車であれば感覚がつかめるので最適」とのアドバイスがあった。
- ・参加者アンケートでは5段階評価で4点以上が98%と高い評価でした。また、体験からさらに一歩進み、大会への出場を希望する声もあがっていた。
- ・昨年度にこの体験会に参加して初めて自転車に乗った聴覚障がいの男児が今年度も来場しました。その子はおもって自転車の乗りたくないと早瀬さん等に相談されていた。障がい者へのスポーツ機会の提供の重要性を改めて感じると共に、次のステップの機会の提供についての検討も必要と感じる。